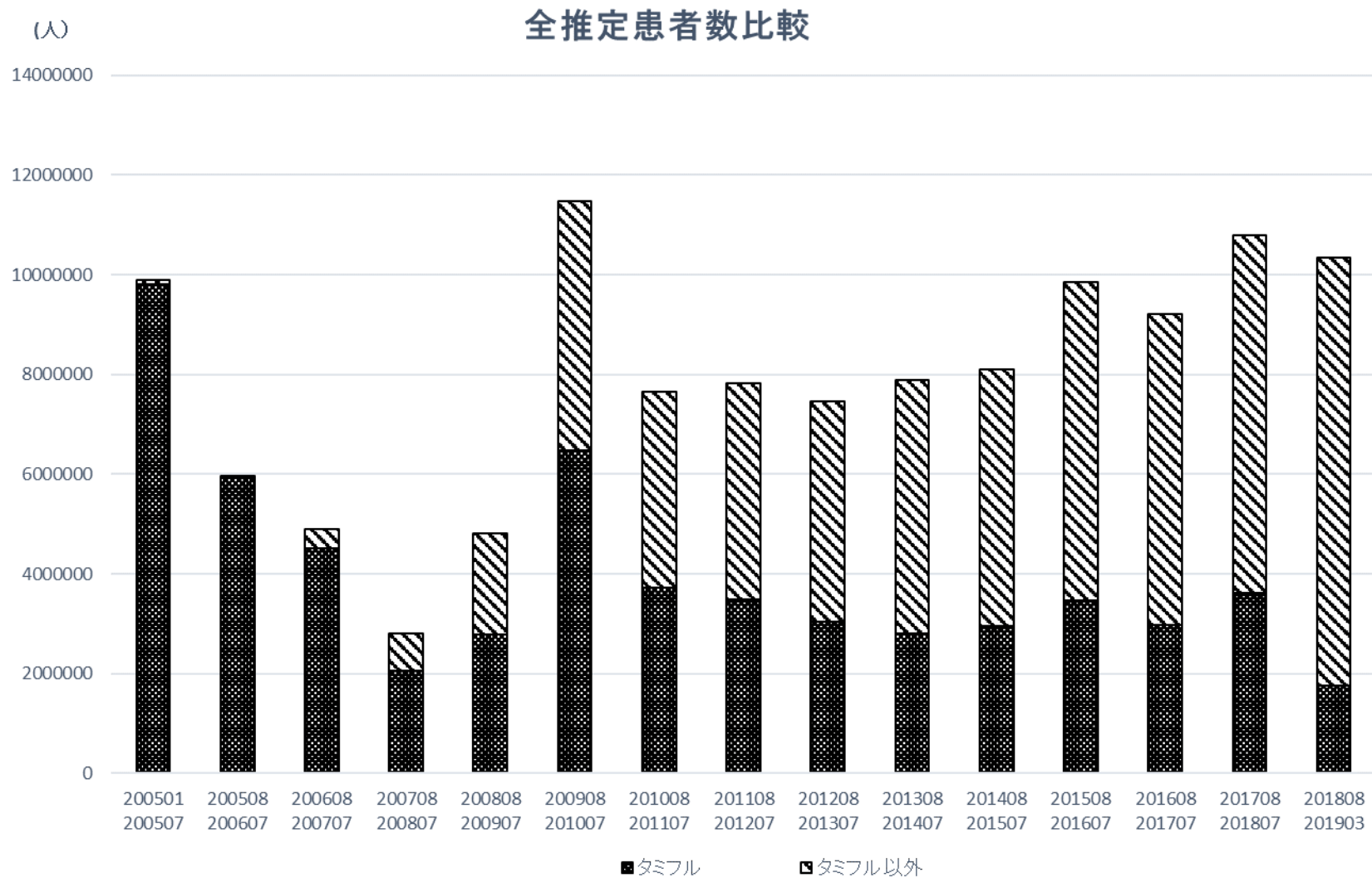


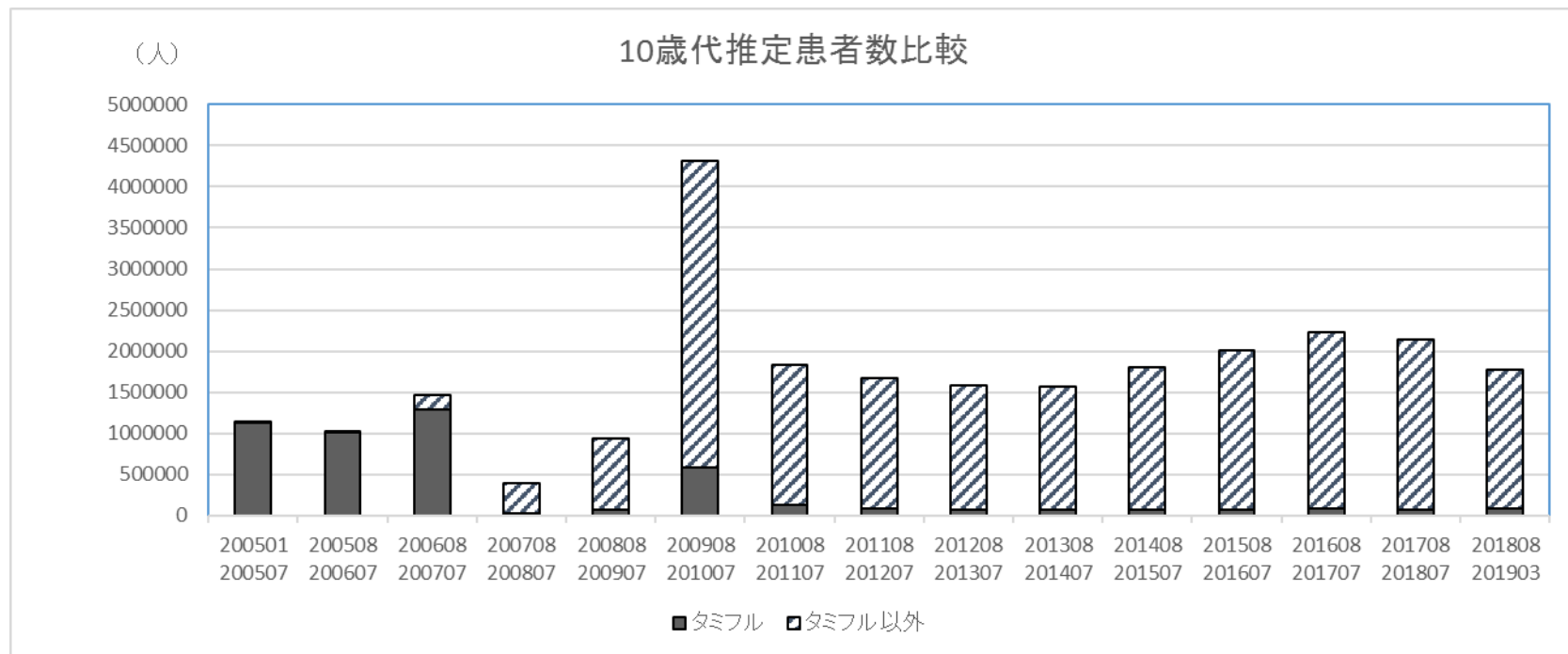
2018/2019シーズンの 抗インフルエンザウイルス薬の使用状況 (企業提出資料による)

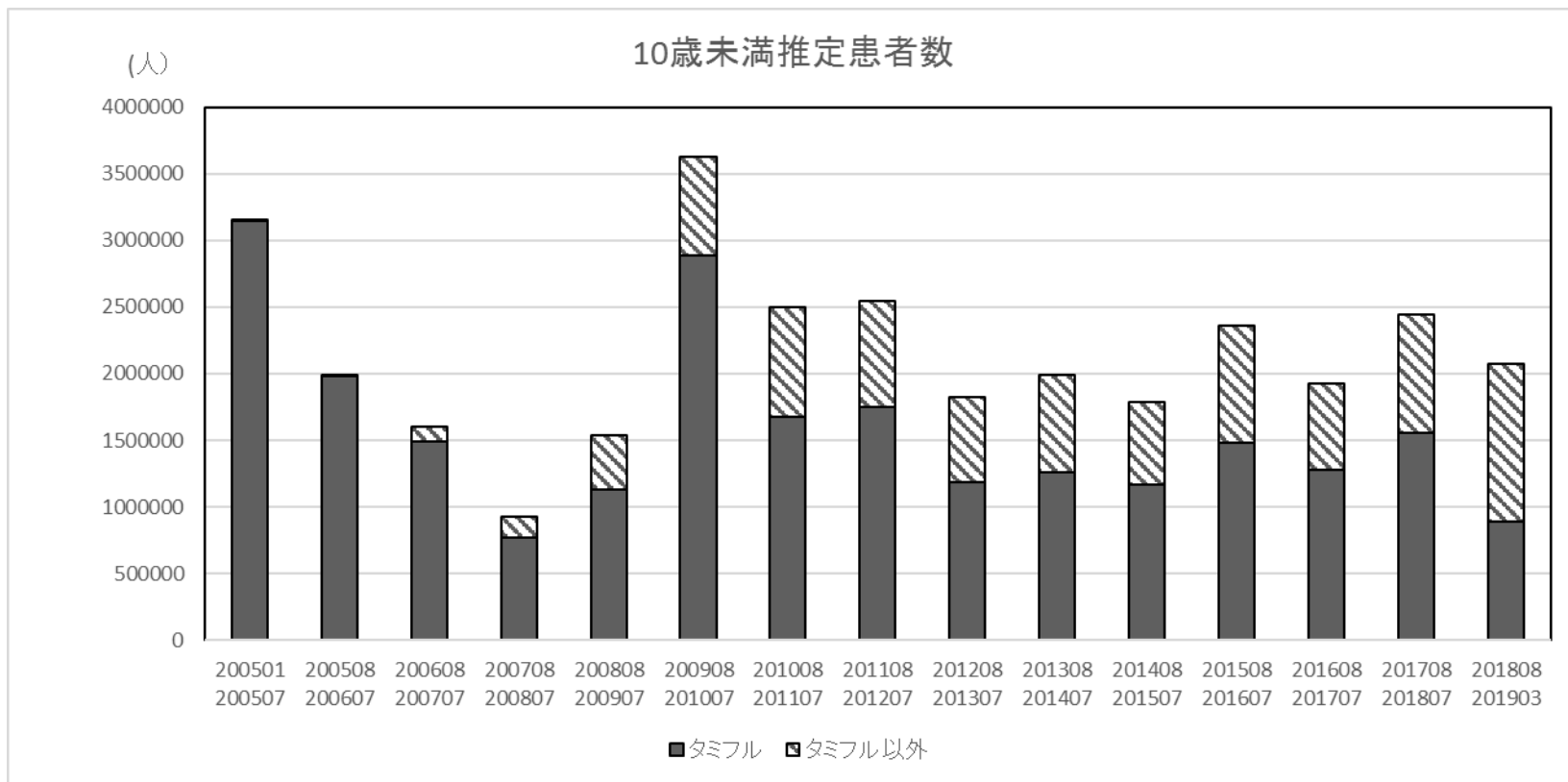
	0～9歳の推定 処方患者数	10～19歳の推 定処方患者数	全推定 処方患者数	出典 (期間)
オセルタミビルリン酸 塩(タミフル)	約89万人 (約162万人)	約8.2万人 (約7.8万人)	約177万人 (約377万人)	(株)JMDCのデータより中外 製薬株式会社が算出 (2018年8月～2019年3月)
オセルタミビルリン酸 塩(サワイ) ※2018年9月販売開始	約32万人 (一)	約4万人 (一)	約80万人 (一)	ジャムネット(株)のデータより 沢井製薬株式会社が算出 (2018年10月～2019年3月)
ザナミビル水和物(リ レンザ)	約12万人 (約90万人)	約21万人 (約86万人)	約53万人 (約270万人)	(株)JMDCのデータよりグラクソ スミスクライン株式会社が算出 (2018年10月～2019年3月)
ペラミビル水和物(ラ ピアクタ)	約2.2万人 (約3万人)	約1.6万人 (約3万人)	約14万人 (約32万人)	(株)JMDCのデータより塩野 義製薬株式会社が算出 (2018年10月～2019年3月)
ラニナミビルオクタン 酸エステル水和物(イ ナビル)	約25万人 (約60万人)	約56万人 (約156万人)	約241万人 (約612万人)	(株)JMDCのデータより第一 三共株式会社が算出 (2018年10月～2019年3月)
バロキサビル マルボ キシル(ゾフルーザ)	約48万人 (約0.4万人)	約83万人 (約0.7万人)	約427万人 (約3.7万人)	(株)JMDCのデータより塩野 義製薬株式会社が算出 (2018年10月～2019年3月)

オセルタミビルリン酸塩（タミフル） 推定処方患者

企業：中外製薬株式会社



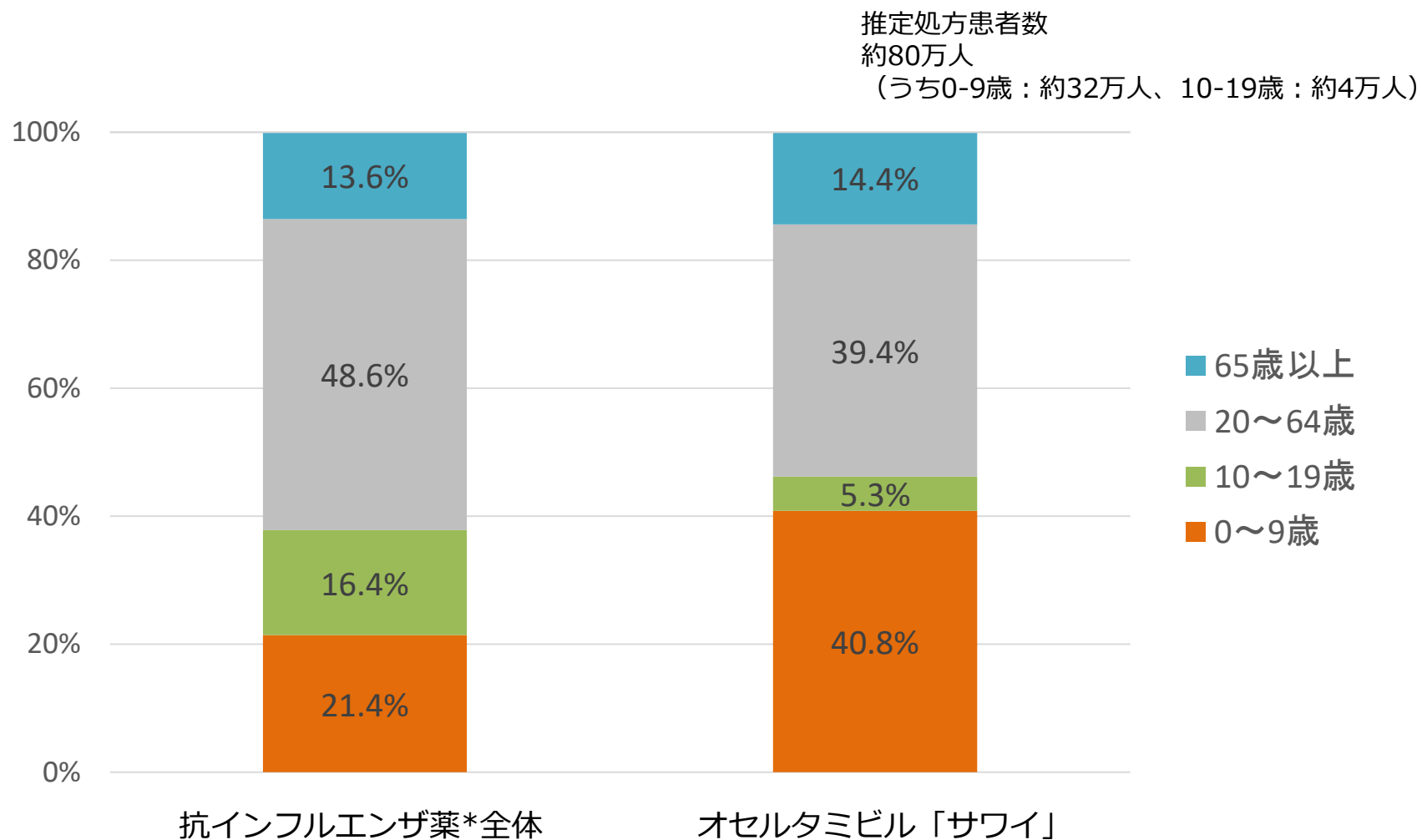




オセルタミビルリン酸塩（サワイ） 推定処方患者

企業：沢井製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬使用状況 (2018年10月～2019年3月)

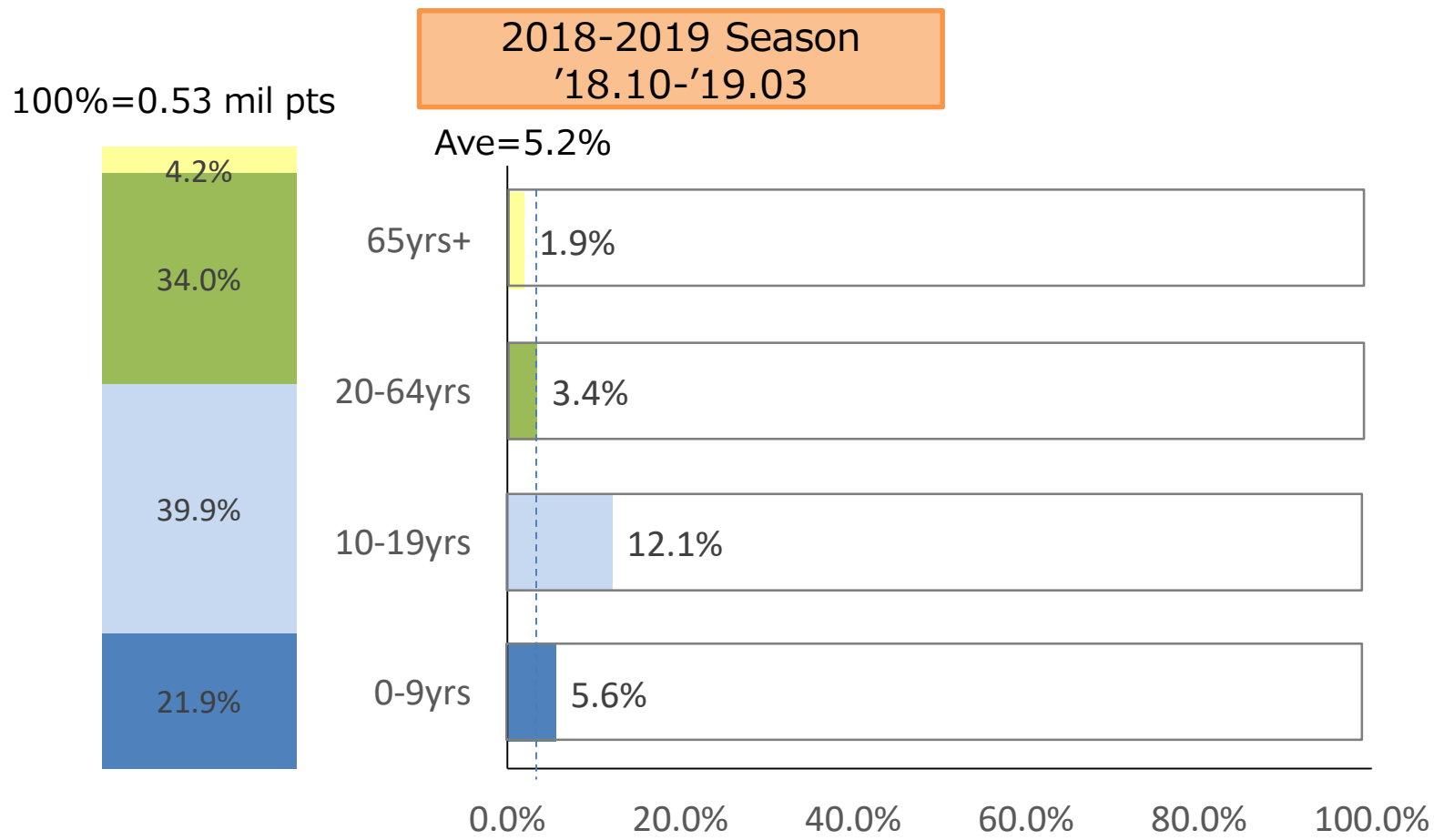


*抗インフルエンザ薬：タミフル、リレンザ、イナビル、ラピアクタ、ゾフルーザ、オセルタミビル「サワイ」

ザナミビル水和物 推定処方患者

企業：グラクソ・スミスクライン株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザ薬の処方状況とリレンザのシェア(推定)



出典：（株）JMDCの保険者データ（2018/10～2019/03）より、GSKが作成
※[J05B4]抗インフルエンザウイルス薬を全市場とした。

ペラミビル水和物 推定処方患者

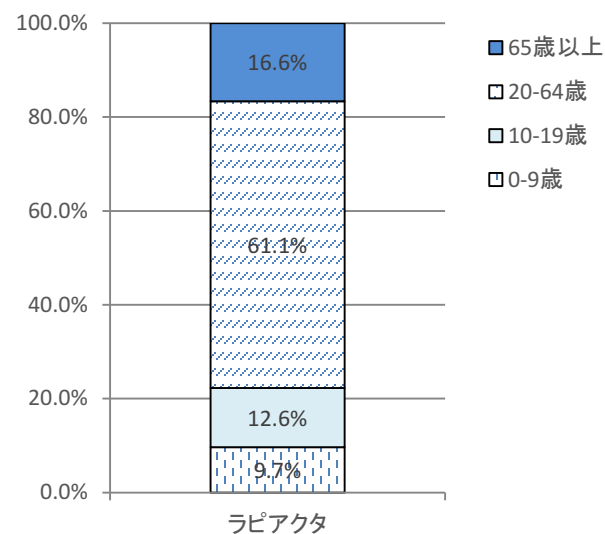
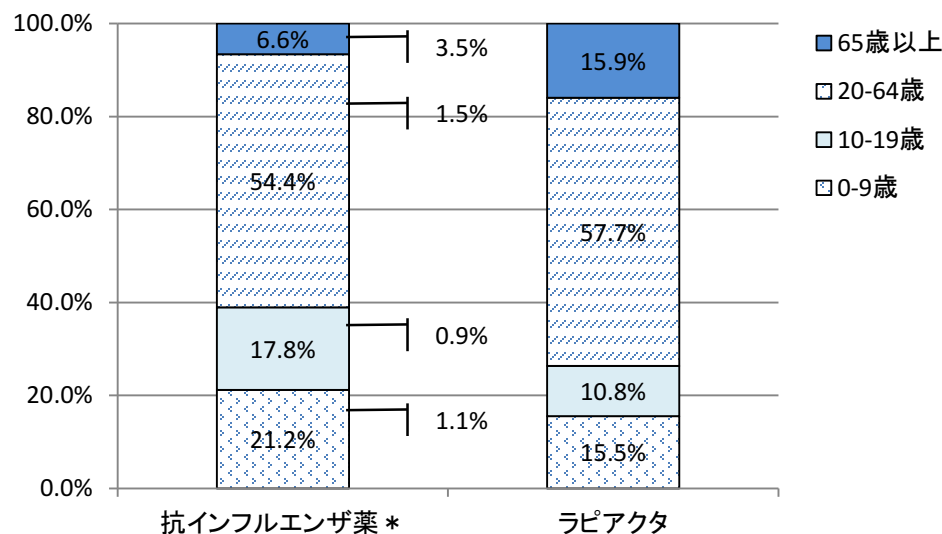
企業：塩野義製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びラピアクタシェア(推定) <2018/19シーズン:2018年10月~2019年3月>

ラピアクタ
 処方比率
 全体:1.5%

推定処方患者数
 約14万人(うち0-9歳:約2.2万人, 10-19歳:約1.6万人)

(参考) 昨シーズン(2017年10月~2018年3月)
 ラピアクタ推定処方患者数・年代別比率
 推定処方患者数
 約31万人(うち0-9歳:約3万人, 10-19歳:約4万人)



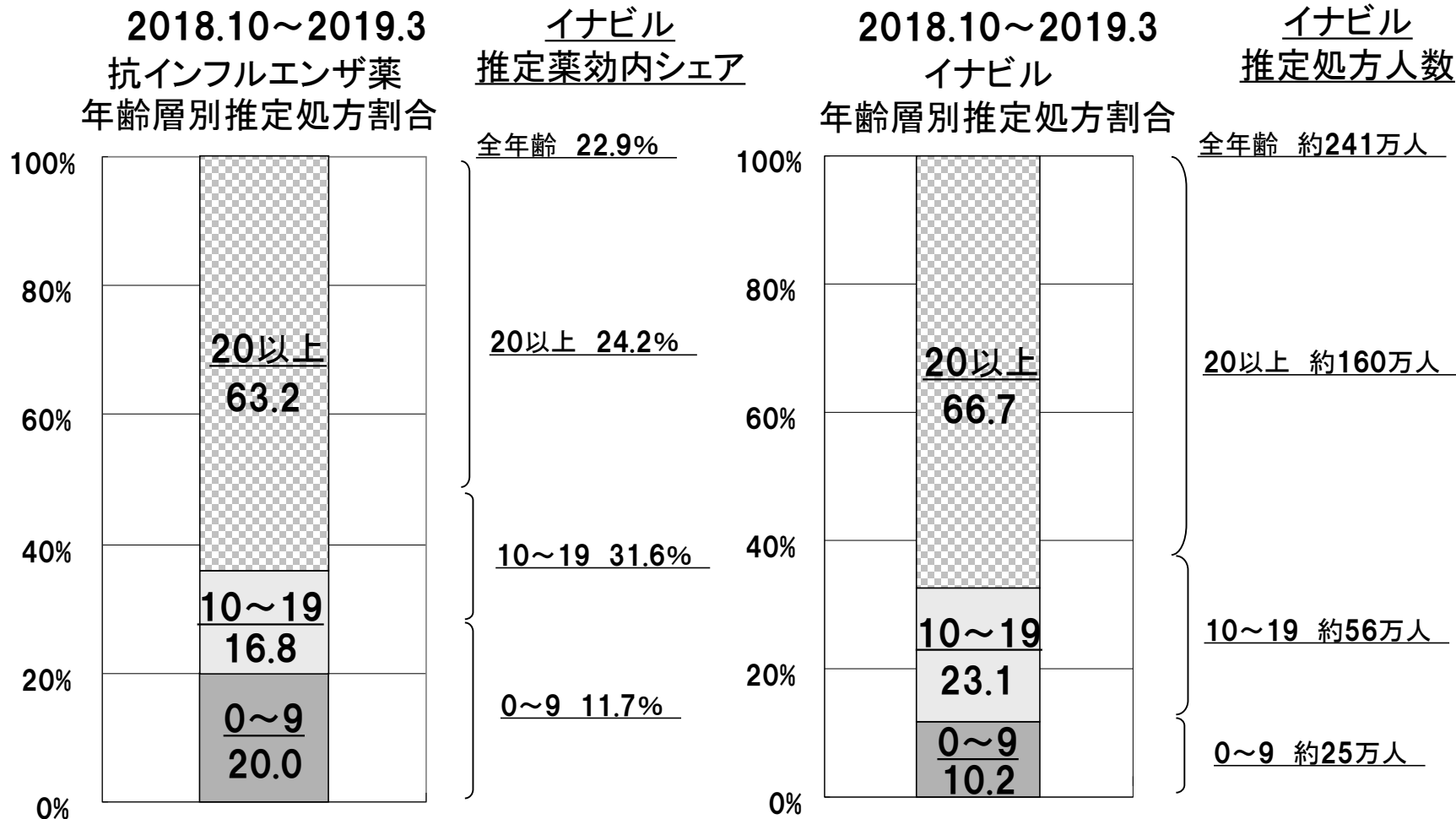
* 抗インフルエンザ薬:タミフル, リレンザ, イナビル, ラピアクタ, ゾフルーザ(2018年3月より販売開始)

出典: (株)JMDCの保険者データより, 塩野義製薬株式会社が算出

ラニナミビルオクタン酸エステル水和物 推定処方患者

企業：第一三共株式会社

抗インフルエンザウイルス薬の使用状況とイナビルの推定シェア 【2018年10月～2019年3月の年齢層別】



出典; JMDC (株式会社JMDC) のデータより、第一三共が推定

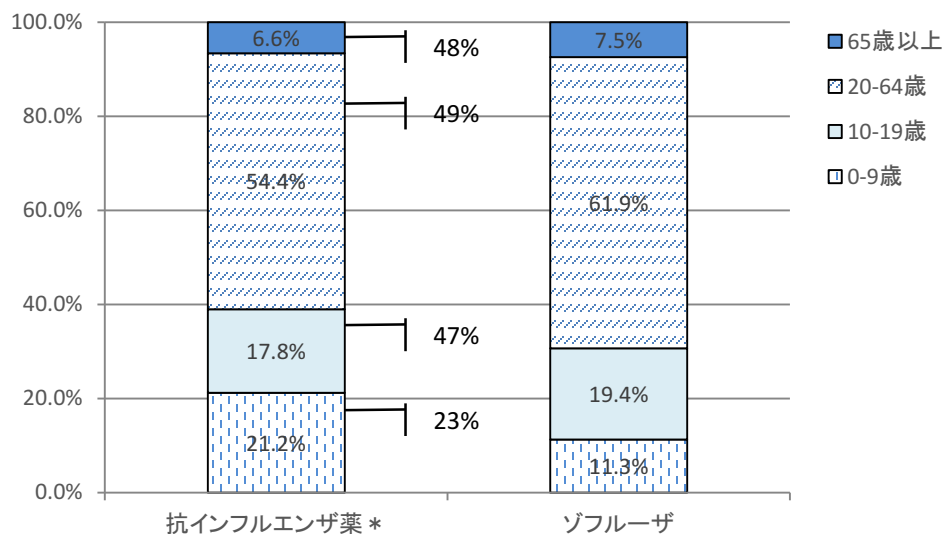
バロキサビル マルボキシル 推定処方患者

企業：塩野義製薬株式会社

患者年齢区分別抗インフルエンザウイルス薬処方状況及びゾフルーザシェア(推定) <2018/19シーズン:2018年10月~2019年3月>

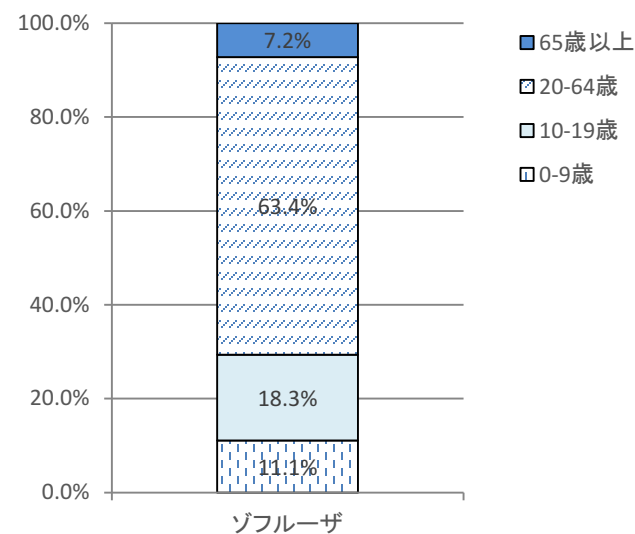
ゾフルーザ
 処方比率
 全体:43%

推定処方患者数
 約427万人(うち0-9歳:約48万人, 10-19歳:約83万人)



(参考) 昨シーズン(2017年10月~2018年3月)
 ゾフルーザ推定処方患者数・年代別比率

推定処方患者数
 約3.8万人(うち0-9歳:約0.4万人, 10-19歳:約0.7万人)



* 抗インフルエンザ薬:タミフル, リレンザ, イナビル, ラピアクタ, ゾフルーザ(2018年3月より販売開始)

出典: (株)JMDCの保険者データより, 塩野義製薬株式会社が算出